

NOTISEM

2013年12月17日

エネルギー改革

12月12日、メキシコ連邦議会はエネルギー改革(法案)を可決した。この法案によって、エネルギー部門がメキシコ経済を牽引する最も強力な原動力のひとつとなる。この改革は、メキシコの労働者、企業、家庭に益する形で、石油収入の最大化と環境リスクの軽減をめざす先端技術の導入・採用・利用を実現する。世界で最高の実績をあげている官民連携スキームの利用が、関連法規を介して、可能になる。

改革のキー・ポイント

- 炭化水素資源部門を民間に開放：探査、開発、加工、輸送、貯蔵、供給
- 民間の参加を可能にする法的枠組み(モダリティ)：サービス契約、プロフィット・シェアリング契約、プロダクション・シェアリング契約、ライセンス契約
- 電力産業(事業)を民間に開放：発電と流通に関しては、送電と売電は CFE(連邦電力委員会)の専管事業として維持されるが、ネットワークの構築・維持・運営の事業で民間企業と契約できる。
- 行政上の業務分担：エネルギー省は入札に付す事業分野を選択する。SHPC(財務省)は契約の税務条件を規定する。国家炭化水素(資源)委員会は入札を実施し、落札者を選別する。
- ゼロ・ラウンド：Pemex は、他のプレイヤーと競合することなく、探査区域の専管を申請でき、あらゆる生産区域(油田)の権利を維持する。
- メキシコ石油基金：国家が得る石油収入を受領し、管理する。
- 新たに非国有化を経た機関：国立天然ガス管理センター、国立エネルギー管理センター、国立産業安全性・環境保護庁
- 規制機関の自治権拡大：国家炭化水素(資源)委員会とエネルギー規制委員会に予算上の自立採算を求めつつ、技術運営上の自治権を与える。
- 補助金制度上の移行：エネルギー資材への一般補助金から対象を特定した補助金への移行
- 腐敗撲滅と透明性：あらゆる契約は透明性を規定する条項を備えて、腐敗(汚職)行為は処罰される。
- 労働者の諸権利を尊重：Pemex と CFE の労働者に備わる権利は尊重される。

-なぜ、エネルギー改革を実施したのか？

探査作業ならびに全般に関わる技術革新の進行によって、今日のメキシコは、エネルギーを基礎にすえた経済成長の好機に直面している。我が国は、シェール・ガスと石油を採掘できる深海埋蔵地層に豊富な資源を保有している。こうした資源を活用することは以前は技術的にも経済的にも不可能であったが(今日ではそれが可能になり)、活用を実現するためには最新テクノロジーと専門知識が必要とされる。

今回の改革を断行せねば、歴史的にエネルギー資源の輸出大国であったにもかかわらず、今後5年以内にエネルギー輸入国となっていた。

ーこの改革で、外国企業に主権が譲与されるのか？

話はその逆である。(この改革で)外国製の炭化水素資源に対する現在の依存率を下げる事が可能になり、石油・天然ガス・その他副産品の国産量が増大する。天然ガスやガソリン、プラスチックや肥料を含む他の製品の輸入が減少する。

ー資源や契約はどのように管理されるのか？

あらゆる契約は公開され、一般市民の誰もがいつでもこれらを検証できる。各契約は外部監査の対象となり、その結果の発表を手段とする強力な管理体制が確立される。

国家炭化水素委員会には自治権の拡大が認められる一方で、メキシコ国立銀行が石油収入の管理に参加する。公務員及び企業の腐敗行為を予防し、特定し、厳罰に処すための法規を整備する。

安定化と開発のためのメキシコ石油基金が創設される。その基金が、(石油)収入の透明且つ効率的な管理を保証する。そこから、教育や科学技術、再生可能エネルギーなどの開発に充当する貯蓄がもたらされる。

ーこの改革は経済にどのような影響を及ぼすのか？

- この改革が、国内一般世帯が必要とする低コストの電力とガスの大量生産をもたらす。
- 低コストのエネルギーを確保して原材料を加工することで、高付加価値の製品生産がもたらされる。
- 低コストの天然ガスが大量にもたらされれば、産業の発展を阻害するエネルギー供給不足が回避される。
- 低コストでクリーンな電力を持つことで、外国からの投資と国内雇用の増大がもたらされる。
- エネルギー部門とプラスチックや肥料の製造やエコ輸送などの関連産業で、今後数年以内に高品質の雇用が創出される。
- 天然ガスと石油の生産増加は国家収入の増大を意味しており、学校や病院、道路や社会プログラム、その他公共投資に必要な多くの資金がもたらされる。

ー環境保護のために何らかの措置が想定されているのか？

- この改革では、発電用に、重油や軽油ではなく、天然ガスの利用を奨励している。
- 汚染物質の排出を段階的に削減し、気候変動に対処する。
- 低コストの天然ガスを確保することで、トラックの燃料を軽油からクリーンなガスに移行できる。

- 天然ガスや風力、太陽光などのクリーンなソースの発電が可能になる。

－Pemexの何が変わるのか？

Pemex はより生産的な政府系企業となつて、政府からの独立、労組からの独立、を強める。経営会議(取締役会議)に労組代表を置かず、**経営と予算運用上の自治権**を拡大する。税制は各油田の実績に応じて調整されることで、**人材育成や先端テクノロジー**に投下する資金の余裕が生じる。

Pemex は、探査箇所を選択する。その投資は保護され、すべての油田に関わる探掘権は保証される。最良の探査区域が Pemex に割り当てられる。**その都合に応じて、他の企業とのチームを組む**ことができる。金融リスクのある事業で**損失の回避や収益の共有**が可能になる。

－CFEの何が変わるのか？

CFE は、真に生産的で、独立した、より高いサービス基準を備えた、公営企業となる。低料金の電力を供給する対象の世帯数を増やす。迅速で、効率のよい、透明性の高い経営モデルを確保する。原子力発電を認可された唯一の企業である。

主要データ

- この改革及び他の改革を介して、現政権の任期中に、約 50 万人の雇用が創出される。
- Pemex と CFE は、100%メキシコ企業であり続ける。
- 石油生産は、現在の 250 万 B/D から、2018 年の 300 万 B/D、2025 年の 350 万 B/D への増大が期待されている。
- 天然ガスに関しては、現在の 570 万 m³/D から、2018 年の 800 万 m³/D、2025 年の 1,040 万 m³/D への増大が期待されている。

問合せ先

- －改革の特徴：[\(Secretaría de Economía:経済省\)](#)
- －メキシコのエネルギー部門診断と改革の特徴：[\(Presidencia de la República:大統領府\)](#)
- －Pemex に関する情報グラフ：[\(Presidencia de la República:大統領府\)](#)
- －エネルギー改革の趣旨：[\(Gobierno de la República:連邦政府\)](#)
- －ビデオ：[#ReformaEnergética#\(Presidencia de la República:大統領府\)](#)

出所：SRE(メキシコ外務省)DGCS(広報局)

参考和訳：在日メキシコ大使館, mm, 2014-I-14

以上